Key words ● IDF-WPR, AASD

第 9 回 IDF-WPR 会議／第 4 回 AASD 学術集会

京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学　原島　伸一

第 9 回国際糖尿病連合西太平洋地区（IDF-WPR）会議および第 4 回アジア糖尿病学会（AASD）学術集会が，2012 年 11 月 24 日（土）から 4 日間，国立京都国際会館にて初めて合同開催されます．これまで IDF-WP 会議と AASD 学術集会はそれぞれ個別に開催されてきました．しかし，アジアおよび西太平洋地区の糖尿病患者は激増しており，糖尿病の病態が多様で民族や文化的背景も異なることから，研究，予防，治療，教育のすべの観点から対策を考えることが緊急の課題となっています．そのため，基礎・臨床研究と診療・患者教育を別々に議論するよりも，それらを同時に議論し問題解決にあたる方が効率的かつ現実的なため，両学会は 2 年に 1 度同時開催することになりました．

IDF-WPR は，地域の糖尿病診療と糖尿病教育を推進し，糖尿病療養指導の育成を通して糖尿病患者の QOL 向上を目指しています．一方，AASD は，アジア人の糖尿病の病態や治療に関する研究を推進すべく 2009 年 3 月に設立され，東アジア，東南アジアの糖尿病に関連する 19 団体が加盟しています．AASD の機関誌である Journal of Diabetes Investigation（JDI）はインパクトファクター取得が決まり，AASD の活動は世界的に注目を集めています．

本学会は，「西太平洋地区における糖尿病の多様性の探求；科学的根拠に基づく糖尿病の教育とケア」をテーマに，西太平洋地区の医療者，研究者が一堂に会して，糖尿病に関する，①臨床ならびに基礎研究，②教育と療養生活，③予防と治療について討議することで，同地区の糖尿病管理への新たな展望が開かれるものと期待されています．学会プログラムは，初日の 11 月 24 日（土）には，市民公開講座とイベントが開催されます．公開講座は，IDF-WPR の市民向け講座と，糖尿病シンポジウム，糖尿病協会近畿地方会，世界糖尿病デーの同時開催となります．また，市民向け一般講演の終了後，3km ラン / ウォーク，いきいき体操，糖尿病カンバセーション・マップの 3 つのイベントが行われます．3km ラン / ウォークでは，宝ヶ池公園を美しい紅葉を眺めながら 1 周します．いきいき体操は，エアロビクスを基本に，体を動かすことの基本を学びながら楽しく体操を行います．また，新しい糖尿病教育ツールとして IDF，日本糖尿病協会が普及活動を行っている糖尿病カンバセーション・マップを体験してもらいます．25 日からは，特別講演，教育講演，シンポジウムなどのプログラムが開催されます．会長講演は，25 日に第 4 回 AASD 会長である堀田饒先生が，26 日に第 9 回 IDF-WPR の会長である清野裕先生が行います．特別講演は 26 日に行われ，iPS 細胞研究の権威である京都大学の山中伸弥先生が壇上に立たれます．教育講演は，インクレチンについて Daniel J Drucker 先生（University of Toronto, Canada）が，インスリン抵抗性について門脇孝先生（東京大学）が，糖尿病合併症について George L. King 先生（Joslin Diabetes Center, USA）が，糖尿病足潰瘍について寺師浩人先生（神戸大学）が，糖尿病教育について Tommy Ty Willing 先生（フィリピン糖尿病学会）が，インスリン分泌について清野進先生（神戸大学）が最新の知見を発表されます．IDF-WPR と AASD のそれぞれの学会の特徴に合わせて，3 日間で 38 にも及ぶシンポジウム，4 つのディベート，2 つのワークショップが開催されます．また，IDF-WPR では，1 型糖尿病患者さんが中心となった Youth Leaders の活動を支援しており，活動方針を発表する機会を提供しています．口演は，18 セッションで 100 演題以上，ポスター発表は 300 演題が行われます．

本合同学術集会には，日本国内から 2,500 名，諸外国から 1,500 名，合計で 4,000 名程度の参加が見込まれています．このように国際色豊かで，各国の多様性を議論する国際学会は少なく，若い医療者，研究者，コメディカルにとって刺激となることでしょう．さらに，各国の糖尿病療養指導士の現状と今後の課題に加え，フットケア，カンバセーション・マップ，食品交換表，食事療法，運動療法，チーム医療など，各国の現状を紹介し比較するシンポジウムも多く用意されています．日頃の療養指導に必ず役立つことから，CDEJ の多くの皆さんの参加を心待ちにしています．

